
事業報告

公開講座概要

「開かれた高等教育機関」「特色ある高等教育機関」として地域社会での文化的リーダーの役割を果たすべく努めて来た本学では、昭和44年開学以来、いち早く公開講演会を実施、地域住民とのつながりを深めてきた。昭和55年度からは、文化講座と改め、メインテーマを設けて、毎年秋に5～6回講座を開いて来た。メインテーマは「万葉の時代」（昭和55年）「奈良文化の源流」（昭和56年～58年）「大和の自然と文化」（昭和59年～61年）「シルクロードをたどる」（昭和62年～63年）「伝統文化を考える」（平成元年～2年）などで、第12回目の平成3年度は「大和の文化を創った人々」をメインテーマとし9月14日(土)から10月19日(土)にかけ奈良市東向中町28 奈良近鉄ビル4階の奈良歴史教室で5回にわたり開講され183名の受講者（延べ出席者647名）が参加、うち82名が全講座を受講した。

一方社会学部でも昭和63年4月創設とともに積極的に公開講座を検討、開講してきた。

初年度は「経営の革新と新しいリーダーシップ」などをテーマに3回、翌平成元年度は「婦人労働を考える」をテーマに9月、4回にわたり行われた。

平成2年には「職場の活性化とリーダーシップ」と題し奈良工業会と共催、企業の管理監督者を対象に3回にわたり開かれた。

平成3年は従来と多少趣向をかえ「新しいライフデザインを考える」－女性がエキサイトする社会にむけて、家庭、地域、職場からの構想－をテーマにパネルディスカッション＋フォーラム形式で9月14日、奈良県文化会館で開かれ、127名の参加者を得て、盛会裏に終わった。

平成3年度に実施された各講座のテーマ及び講演要旨はつぎのとおり。

平成3年度

文化講座

9月14日

『教訓抄』と狛近真

笠 置 侃 一

狛近真は鎌倉時代の南都の舞師で、雅楽書の原典として貴重な『教訓抄』の著者として名高い。後には宮廷の楽人として従五位上左近衛将監になり、楽所の一ノ者として当時の狛氏一統の秘曲を一身に集成した人である。